

〈研究の成果〉年間指導計画の作成【What to teach】

金銭教育年間指導計画系統図

確かな金銭感覚

豊かな金銭感覚

人とのつながり

地域とのつながり

未来とのつながり

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
算数科		「たし算のひっ算」 「ひき算のひっ算」 ○買いたい物の値段やおつりの計算を通し、お金を使うことへの関心を高めたり、日常生活と結びつけたりする。	「暗算」 ○買いたい物の値段やおつりの計算を通し、お金の大切さを理解する。	「概数を使った計算」 ○買いたい物の購入金額を見積もる際に、目的に応じた代金の検討のつけ方を理解する。	「割合」 ○割合を用いて比較したり考察したりする良さに気付く。また、日常生活と関連付け、使われている場面に気付く。	「算数で読み解こう」 ○これからの時代の変化に伴って変わる支払い方法などについて気付く。
生活科	「がっこうに いる ひとと なかよくなるよう」 ○学校生活を支えている人々について知り、感謝の気持ちをもつ。 「じぶんで できる ことをしよう」 ○家の手伝いをする中で役立つ喜びを知る。 「あたらしいねんせいをしようたい しよう」 ○新入生のために、自分たちができることを考え友達と協力して活動する。	「みんなでつかう まちのしせつ」 ○身近な公共施設に出かけ、その仕事や施設の利用の仕方を調べることで、施設を支えている人に感謝の気持ちをもつ。 「どきどきわくわく まちたんけん」 ○地域の人々の働きによって、生活が支えられていることに気づき、地域の人々の働きに感謝の気持ちをもつ。	「バリアフリーを知ろう」 ○身近な公共施設に出かけ、その仕事や施設の利用の仕方を調べることで、公共施設には、税金が使われており、みんなの願いを実現していることに気付く。	「ワカメの養殖について調べよう」 ○ワカメの養殖産業に関わる人々の働きについて理解し、感謝の気持ちをもつ。	「歌津のよさを調べよう」 ○働く人の思いに気づき、感謝の気持ちをもつ。	「修学旅行に行こう」 ○計画的にお金を使うことの大切さを理解し、実際に計画を立てる。
社会科			「変わりゆく市」 ○歌津地区の町の復興を調べ、多くの施設が税金によって建設されていることに気付く。 「店ではたらく人」 ○自分で買いたい物をする中でお金の大切さに気付く。 「工場の仕事」 ○働いている人の工夫や苦勞を知り、働くことの大切さを知る。	「水はどこから」 ○学校の水道量の使用割合と費用について表を見ながら、水の使い方を考える。 「ごみを分別する」 ○ごみの処理には多額の費用がかかることを理解したり、3Rなど資源の有効活用を意識を高めたりする。	「米作りのさかんな地域」 「水産物のさかんな地域」 ○売られている品物には、様々な人の手が加わっていることを理解し、感謝の気持ちをもつ。 「工業生産を支える輸送と貿易」 ○工業生産について調べ、それらは経済や国民生活に重要な役割を果たしていることを理解する。 「情報を生かす産業」 ○現金だけではなく、インターネットなどを通じたお金の移動があることに気付く。	「くらしの中の基本的な人権の尊重」 ○教科書や学校の施設などは、納税によって成り立っていることを理解し、感謝の気持ちをもつ。 「税金の働き」 ○税金によって、わたしたちの生活が支えられていることを理解し、感謝の気持ちをもつ。 「国際協力の分野で活やくする人々」 ○募金などの大切さを理解し、募金活動に参加しようとする気持ちをもつ。
理科	<p>〈年間指導計画の作成にあたって〉</p> <p>(1) 各教科・領域の中で系統性を図りながら計画を作成した。その中でも本校の研究の特色である「確かな金銭感覚」と「豊かな金銭感覚」に関する学習内容が、発達段階に応じて、徐々に「確かな金銭感覚」から「豊かな金銭感覚」にシフトしていくよう設定した。</p> <p>(2) 本校の校内研究の特長である「未来志向のふるさと教育」を意識するだけでなく、発達段階に応じて、その学習場面を「人とのつながり」「地域とのつながり」「未来とのつながり」になるよう設定し、学校教育目標や研究目標、そしてこの教育計画までの一貫性を大切に計画を立てた。</p>					理科「電気と私たちのくらし」 ○工夫によって電気が安くなることを理解し、電気を大切に使うようとする気持ちをもつ。 保健「地域の保健活動」 ○国民皆保険制度に触れ、国民がお金を出し合って、病気やけがをしても、お金の困らないようにしていることを理解する。
家庭科						
道徳	「『みんな だれかに』感謝」 ○自分たちを支えている人々について知り、感謝の気持ちをもつ。 「ほくの しごと」 ○家の手伝いをする中で役立つ喜びを知る。	「じぶんできちんと」 ○日頃使っている物には、お金がかかっていることを理解し、物を大切に扱っていかうとする気持ちをもつ。 「だっておにいちゃんだもん」 ○家族から守られていることを感じながら、自分も家族の一員として役立つことをしようとする気持ちをもつ。 「まる子のかぞくへのしつもん」 ○家庭内での自分の立場に気づき、家族の一員として積極的に働く気持ちをもつ。 「いまほくのできること」 ○みんなのために働くことの良さを感じながら、みんなのために働こうとする気持ちをもつ。	「ゴミステーション」 ○進んで働くことの大切さに気付く。 「教えて！なんでもそうだん室」 ○みんなのために働くことの大切さを理解する。 「大通りのサクラなみ木」 ○生活を支えてくれる身近な人への感謝の気持ちをもつ。	「『もっこ』をせおって」 ○人のために働くことの心地よさに気付く、誰に対しても進んで働こうとする気持ちをもつ。 「点字メニューにちょうせん」 ○働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする気持ちをもつ。 「おかあさんのせいきゅう書」 ○家族の一員として家族みんなに感謝し、協力し合って楽しい家庭をつくらうとする気持ちをもつ。	「わたしのボランティア体験」 ○社会に奉仕する喜びを知り、自らも公共の役に立ちとうとする思いをもつ。 「『ありがとう上手』に」 ○自分の生活を振り返り、家族や身近な人への感謝の気持ちをもつ。	「うちら「ネコの手」ボランティア」 ○社会奉仕している人への感謝の気持ちをもつ 「桜守の話」 ○社会奉仕している人への感謝の気持ちをもつ。
学級活動	「当番の役割と仕事」 ○学級のいろいろな仕事にみんな協力して取り組もうとする態度を身に付ける。 「○学期の係を決めよう」 ○みんなのために働くことの良さを感じながら、自分ができる仕事について考える。	「みんなでできる仕事を考えよう」 ○学級のいろいろな仕事にみんな協力して取り組もうとする態度を身に付ける。 「当番の役割を考えよう」 ○みんなのために働くことの良さを感じながら、進んで働こうとする気持ちをもつ。	「清掃の当番活動役割を決め、清掃の仕方を学ぼう」 ○みんなのために働くことの大切さを理解する。 「一生懸命働き、清掃する大切さを学ぼう」 ○一生懸命働き、清掃する大切さを学ぼう。	「清掃の仕方を見直そう」 ○みんなのために働くことの大切さを理解する。 「清掃の当番活動役割を決めよう」 ○みんなのために働くことの大切さを理解する。	「○学期の係を決めよう」 ○みんなのために働くことの大切さを理解し、自分のために働いてくれる仲間感謝する気持ちをもつ。 「係、当番の仕事に反省しよう」 ○みんなのために働くことの大切さを理解し、自分のために働いてくれる仲間感謝する気持ちをもつ。	「係、当番の仕事に反省しよう」 ○みんなのために働くことの大切さを理解し、自分のために働いてくれる仲間感謝する気持ちをもつ。 「キャッシュレス決済について知ろう」 ○キャッシュレス決済のしくみを理解し、計画的に使うようとする気持ちをもつ。